

環境活動レポート

(期間：第55期 平成26年9月1日～平成27年8月31日)



(グリーンカーテン作り)

平成28年2月22日発行

1 環境方針

三栄産業株式会社は、次の環境方針に基づき環境保全活動に取り組んでいます。

環境方針 三栄産業株式会社

「三者繁栄」すなわち都市環境の向上に奉仕する当社の総合ビル管理事業を通じて

第一に お客様の繁栄に寄与することを念じ

第二に その結果、当社の経営にも好影響が生まれてくれば

第三に 従業員にも幸せが訪れてくる。

この思いを実現するため、お客様に信頼していただき、継続して仕事をさせていただくことが基本となる。その中で深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇といった人類共通の重要課題にも積極的に対応していきたい。

これらの考えを基に当社の環境方針を次のようにする。

当社の事業活動のあらゆる面で環境負荷の低減を図るのはもちろんのこと、環境保全につながるサービスや商品の提供にも力を入れ、持続的発展が可能な社会の構築に貢献する。

<環境保全への行動指針>

1. 具体的に次のことに取り組めます。

- ①電気・水道の使用量を削減します。
- ②ゴミの排出量を削減し、再資源化を促進します。
- ③ガソリン・軽油の消費量を削減します。
- ④環境負荷の少ないサービスや商品をお客様に提案いたします。
- ⑤グリーン購入を推進します。
- ⑥地域社会に向けて環境啓発活動を行います。

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：平成20年10月20日

改訂日：平成27年1月1日

代表取締役 **米山 真和**

2 事業の概要（認証登録の範囲）

(1) 事業者名および代表者氏名

三栄産業株式会社
代表取締役 米山 真和

(2) 対象事業所

本社 〒730-0011 広島市中区基町5番44号 広島商工会議所ビル
西営業所 〒733-0035 広島市西区南観音7丁目6番22号
指定管理施設（契約期間）
佐伯運動公園（平成22年4月1日～平成27年3月31日）
寺迫公園（平成22年4月1日～平成27年3月31日）
広島市営駐車場（横川駐車場）（平成22年4月1日～平成27年3月31日）

(3) 環境管理関係者の連絡先

環境管理責任者 : 米山 真和（代表取締役）
環境事務局担当 : 今城 透雄（西営業所 クリーン事業部）
連絡先 : ☎082-232-0533 (<http://www.3ei-kk.com/>)

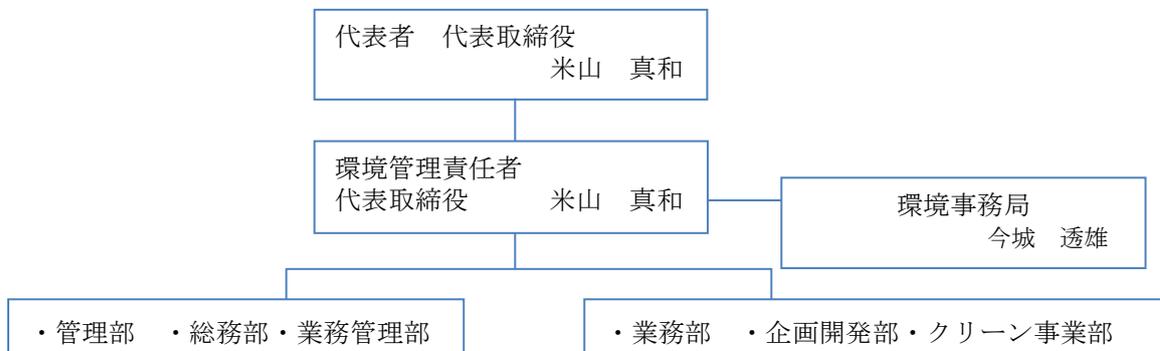
(4) 主な事業内容

ビルメンテナンス、警備保障、公共施設等の管理運営、建物リフォーム
設備機器メンテナンス

(5) 事業の規模

売上高 1,311百万円（第55期・平成27年8月）
従業員数 406人（平成27年・12月）
床面積 411㎡（平成27年・12月）

(6) 対象組織



3 環境目標

項目 【基準】	第54期 (H25.9~H26.8)	第55期 (H26.9~H27.8)
電力の二酸化炭素排出量の削減 【第48期 33,658kg-CO ₂ 】 【第48期 46,233kWh】	△13% 29,282kg-CO ₂ 40,222kWh	△30% 23,560kg-CO ₂ 32,363kWh
ガソリンと軽油使用料の削減 【第48期 91,661 kg-CO ₂ 】 【第48期 ガソリン 26,469ℓ】 【第48期 軽油 11,546ℓ】	△5% 87,078 kg-CO ₂ 25,146ℓ 10,969ℓ	△11% 81,578 kg-CO ₂ 23,557ℓ 10,275ℓ
自動車燃費の向上 【第50期 9.87 km/ℓ】	+25% 12.34 km/ℓ	+30% 12.83 km/ℓ
環境負荷の少ないサービスや商品を提供する	3件/年	3件/年
グリーン購入の推進	1件/年	1件/年
一般廃棄物の削減 【第51期 394 kg】	△2% 386kg	△20% 315kg
水道使用量の削減 【第48期 270 m ³ 】	△26% 200 m ³	△52% 130 m ³
地域社会に向けた環境啓発活動	6か所/年	2か所/年

電気の二酸化炭素排出量は中国電力㈱の排出係数 0.728 を使用しています。

4 環境目標の実績

第55期の環境目標達成状況【期間：平成26年9月～平成27年8月】

項目	目標値	実績	評価
電力の二酸化炭素排出量の削減	23,560kg-CO ₂ 32,363kWh	25,053kg-CO ₂ 34,414kWh	×
ガソリンと軽油使用量の削減	81,578 kg-CO ₂ ガソリン 23,557ℓ 軽油 10,275ℓ	78,144 kg-CO ₂ ガソリン 27,078ℓ 軽油 5,848ℓ	○
(参考) CO ₂ 排出量	105,138 kg-CO ₂	103,197kg-CO ₂	○
自動車の燃費向上	12.83 km/ℓ	12.24 km/ℓ	×
環境負荷の少ない商品やサービスを提供する	3件/年	3件/年	○
グリーン購入の推進	1件/年	2件/年	○

項目	目標値	実績	評価
一般廃棄物の削減	315kg	281kg	○
水道使用量の削減	130 m ³	143 m ³	×
地域社会に向けた環境啓発活動	2 か所/年	2 か所/年	△

電気の二酸化炭素排出量は中国電力(株)の排出係数 0.728 を使用しています。

5 環境活動の取り組み内容と結果の評価および次期への取り組み

取組内容	結果の評価と次期の取り組み内容
電力の二酸化炭素排出量の削減 ・ 不要照明の消灯 ・ クール・ウォームビズ運動 ・ 外出時のPCの電源OFF ・ 冷房28℃、暖房20℃	目標未達、かつ昨期の実績よりも約1000kwh 電気使用量増加しており、約1000kg-CO ₂ 排出量が増加している。冷暖房時の温度対策、不要な電源のこまめな消去など、もう一度基本に帰って節電対策を行い次期に目標を達成すること。
ガソリンと軽油使用量の削減 ・ アイドリングストップ ・ 急加速、急停車の防止 ・ 冷暖房の控え目使用	暖房を使用する厳寒期や冷房を使用する夏など、単月目標を下回ることはあるが、ハイブリット車の導入や軽油の使用量が年々減少していることとあいまって目標を上回る削減効果を上げることが出来た。 ガソリン使用量は社用車の増加や社員の増加などで今後増加していくと推移されるので、出来る限り増加を抑えていくこと。
自動車の燃費向上 ・ アイドリングストップ ・ 急加速、急停車の防止 ・ 冷暖房の控え目使用	今期後半にハイブリッド車や燃費のよい軽自動車の導入があり、効果は少しずつ出てはいるが、全体の燃費実績は市街地走行の増加や燃費の良い車の三栄パブリックサービスへの移行などもあり、目標は未達で実績も昨季を若干下回った。 近距離・市街地走行が多くなると実績が厳しくなるが、アイドリングストップ、積み荷の確認、空気圧の適正化などを用いてエコドライブを心がけること。
環境負荷の少ない商品やサービスを提供する ・ 省エネ対応機器（照明等）の取替工事	広域公園第一球技場・第二球技場・テニスコート三箇所誘導灯のLED化を提案・受注。 それ以外の話は今期では具現化しなかった。 次期も営業活動を継続してすすめること。 現状では上野学園ホールの大規模修繕によるホール内の誘導灯等のLED化の話などが出てきている。
グリーン購入の推進 ・ 消耗品は環境に配慮したものに切替える	所有する庚午ビルの共有部LED照明導入工事实施。 また、上野学園ホールの事務所や通路など、可能など

取組内容	結果の評価と次期の取り組み内容
	<p>ころから LED 照明への切り替えを自分たちで実施している。こうしたことにより目標を達成した。</p>
<p>一般廃棄物の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ミスコピーの防止 ・ 印刷前確認の励行 ・ 古紙のリサイクル化 ・ 4R 活動の推進 	<p>月によってばらつきがあるものの、1年を通して目標を大きく上回る実績を達成できた。</p> <p>ゴミを出さないということもさることながら「分別し、資源として活用可能なものは再利用しよう」という意識の定着が進んでいると考えられる。</p>
<p>水道使用量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 節水呼びかけ 	<p>社員増に伴う水道使用量の増加、現場で出た布類の洗濯を請け負ったこと等に伴う洗濯機の使用増などが原因で目標に未達、かつ昨期の実績からも増加。</p> <p>改めて「節水の基本3項目」を社内で共有し、未達の目標の達成を図る。</p>
<p>地域社会に向けた環境啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グリーンカーテンの作成 ・ エコスタックの作成 ・ エコキャップ運動 	<p>佐伯運動公園・寺迫公園でのエコスタック・エコキャップ運動を実施。</p> <p>但し今期中の3月末日をもって両施設は三栄産業から三栄パブリックサービスへ管理が移行したため、移行後の新たな取組は取り組み内容も含め未達に終わった。</p>

6 代表者による全体の評価と見直し

上記の実践を踏まえ、平成27年10月13日に代表者による全体の評価と見直しを行いました。

※環境経営システムは概ね有効に機能している。

※目標を達成できたもののうち、「ガソリンと軽油使用量および二酸化炭素排出量の削減」「自動車の燃費向上」「一般廃棄物の削減」については目標を修正すること。

また、「地域社会への環境啓発」は、実態にあったものに目標を見直すこと。

※達成できなかった項目に関しては前記の目標値を継続し実践していくこと。

7 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

適用される主な環境関連法規制

廃棄物処理法・自動車リサイクル法・建築物衛生法・消防法

また、平成27年4月に施行された「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」（略称「フロン排出抑制法」）に関しても、該当項目を追加しております。

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、追加項目も含めて環境関連法規制等の逸脱はありませんでした。

また、関係機関などからの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

8 第56期以降の環境目標

上記の実践を踏まえた上で、第56期の環境目標を下記のとおり見直しました。

項目 【基準】	第55期 (H26.9~H27.8)	第56期 (H27.9~H28.8)	第57期 (H28.9~H29.8)
電力の二酸化炭素排出量の削減 【第48期 33,658kg-CO ₂ 】 【第48期 46,233kWh】	△30% 23,560kg-CO ₂ 32,363kWh	△30% 23,560kg-CO ₂ 32,363kWh	△30% 23,560kg-CO ₂ 32,363kWh
ガソリンと軽油使用料の削減 【第48期 91,661 kg-CO ₂ 】 【第48期 ガソリン 26,469ℓ】 【第48期 軽油 11,546ℓ】	△11% 81,578 kg-CO ₂ 23,557ℓ 10,275ℓ	△15% 77,912 kg-CO ₂ 22,498ℓ 9,814ℓ	△15% 77,912 kg-CO ₂ 22,498ℓ 9,814ℓ
自動車燃費の向上 【第50期 9.87 km/ℓ】	+30% 12.83 km/ℓ	+30% 12.83 km/ℓ	+30% 12.83 km/ℓ
環境負荷の少ないサービスや商品を提供する	3件/年	4件/年	4件/年
グリーン購入の推進	1件/年	2件/年	2件/年
一般廃棄物の削減 【第51期 394 kg】	△20% 315kg	△30% 276kg	△30% 276kg
水道使用量の削減 【第48期 270 m ³ 】	△52% 130 m ³	△52% 130 m ³	△52% 130 m ³
地域社会に向けた環境啓発活動	2か所/年	2か所/年	2か所/年

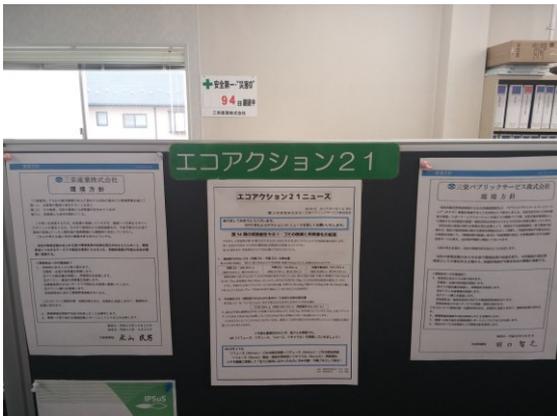
9 各現場での環境活動

当社グループでは各現場の従業員に一般的な環境に対する自覚を高める教育を定期的実施し、二酸化炭素、廃棄物、水使用量の削減を意識したサービスの提供を行うのはもちろんのこと、様々な形で環境啓発や環境負荷の低減につながる活動を行なっています。

※従業員に対しての各種教育（清掃研修・接客講習・あいサポート研修など）の実施



※「エコアクション21 ニュース」の発行による全従業員への環境啓発



※エコカーテン設置



